

- 生駒市高山地区を運行している富雄庄田線は、交通事業者から学研北生駒駅～傍示方面の廃止案が提示されていた。
- 路線が廃止されると、高山地区全域が交通空白地となり、地域への影響が大きいことから、路線存続に向けて協議を続けてきた。
- 運行を継続するため、地域のニーズを調査した上で利便増進実施計画を策定し、利便性向上による利用者の増加と、市の財政支援によって持続可能な路線として再編（富雄庄田線を廃止し、富雄北生駒線と北生駒傍示線を新設、乗継割引の設定）する。

事業の内容

- ①北生駒傍示線を新設
富雄庄田線を廃止し、富雄北生駒線と北生駒傍示線を新設する。北生駒傍示線ではこれまで土休日のみだった生駒北スポーツセンター便を平日にも運行する。
- ②学研北生駒駅での乗継割引の設定
高山地区から富雄駅方面へは学研北生駒駅で乗継が発生するため、乗継割引を設定する。

事業の効果

- ・帰宅時間帯の利便性向上
平日帰宅時間帯（18時以降）の学研北生駒駅から傍示方面のバスを増便し、かつ、終発時間を延長することで、帰宅目的利用者の利便性が向上する。
- ・獅子ヶ丘地区住民の生活利便性向上・平日の観光利用促進
獅子ヶ丘地区の「生駒北スポーツセンター」に平日運行し、住民の日常生活の移動の足を確保するとともに、くろんど池の観光利用も促進する。
- ・鉄道駅の乗継利便性向上
学研北生駒駅での鉄道とバスの乗継を考慮した時刻設定により、乗継の利便性が向上する。

	再編前	再編後
帰宅時間帯の学研北生駒駅から傍示方面への運行本数	平日：3便 休日：2便	平日：4便 休日：2便
生駒北スポーツセンターへの運行本数	平日：0便	平日：2便

・作成自治体
奈良県生駒市

・事業実施区域
生駒市高山地区

・事業実施予定期間
令和7年10月～令和12年9月

